

北陸新幹線開業と地方創生の二つのフォローの風を最大限に活かす

●ねらい

人口減少を克服し、富山県の自然、文化、産業など、各地域の特色・強みを活かした持続可能で活力ある未来を創造する

●将来人口
展望

	2020年 103.5万人 (2010年比 ▲5%)	2040年 91.5万人 (2010年比 ▲16%)	2060年 80.6万人 (2010年比 ▲26%)
推 計 条 件	自然動態	「合計特殊出生率」を段階的に上昇させる 2014年/1.45 ⇒ 2030年/県民希望出生率1.9 ⇒ 2040年/人口置換水準2.07	
	社会動態	若者世代の転出超過を段階的に改善させる ⇒ 2020年/移動均衡	2020年以降も若者世代の移動均衡が継続 現在、転出超過の若者世代(15~34歳)の社会増減が均衡【現在より1,550人改善】

●総合戦略
基本目標

人口減少自体への対応		人口減少社会への適応	
<ul style="list-style-type: none"> 希望出生率と現状とのギャップ 晩婚化と未婚化の進行 	<ul style="list-style-type: none"> 若者の東京圏等への転出超過 産業経済の活性化の必要性 	<ul style="list-style-type: none"> 生産年齢人口の大幅な減少 生産性向上の必要性 	<ul style="list-style-type: none"> 地域コミュニティの弱体化 人口減少が及ぼす様々な影響
基本目標 1	基本目標 2	基本目標 3	基本目標 4
結婚・出産・子育ての願いが叶う環境整備	産業の振興、雇用の創出、県外からの移住促進	女性・高齢者など多様な人材の確保と労働生産性の向上	地域の基盤強化・魅力向上
自然減の歯止め	社会増への転換	労働力不足への対応	地域力アップ
数値目標 (平成31年)			
県民希望出生率「1.9」を目指す ([H26] 1.45)	若者・女性の転入増、転出減を目指す 若者・女性の転出超過数 [現状] 1,550人 [H31] 移動均衡	1人当たり県民所得の維持・向上を目指す 県民所得 [H24] 307.7万円 [H31] 維持・向上	健康寿命の延伸 [H22] 男 70.63歳 女 74.36歳 [H31] 男 72.74歳 女 76.32歳 将来も富山県に住みたいと考える高校生割合 [H22] 56.9% [H31] 60%

● 戦略策定 ポイント

■ ① 県民の知恵とパワーを結集

- 国に先駆けて設置した「まちの未来創造会議」の報告等をもとに検討
- 市町村、各界の代表や有識者からなる「とやま未来創造県民会議」で議論

■ ② 新幹線戦略の取組みをさらに深化

- 「新幹線戦略とやま県民会議」での議論の方向に対応した各般の施策の実施状況、課題を検証しながら、「とやま未来創造県民会議」で議論し戦略策定

■ ③ 富山県の「良さ」「強み」を最大限活かす

- 本県の自然、産業、交通基盤(陸海空)、衣食住、文化、人を最大限に発揮
- 環日本海・アジア地域の拠点として、アジア地域等のエネルギーを取り込む

■ ④ 多様な人材確保、生産性向上・産業高度化を図る

- 生産年齢人口の減少を見据え、女性や高齢者等の多様な人材を確保
- さらに、生産性の向上、産業の高度化を図る産業政策を積極的に展開

■ ⑤ 先駆的な富山モデルをさらに磨き上げ

- 富山型デイサービスなど、全国モデルとなる取組みを積極的に推進
- 最先端ものづくり、世界で最も美しい富山湾の活用等の先駆的事业を拡充

■ ⑥ 県全体がバランスのとれた発展をめざす

- 県民会議の地域部会(「新川」「富山」「県西部」)で地域特性を考慮して議論
- 「県と市町村の地方創生連絡会議」で総合戦略等について密接に連携

■ ⑦ 連携と協働による相乗効果で元気を創造

- 自治体同士の政策連携、民間等との協働を強化
- 連携・協働による掛け算効果で産業・地域を活性化し、「元気とやま」を創造

■ ⑧ 総合計画や他の計画等との整合性を確保

- 「新・元気とやま創造計画」に沿って地方創生・人口減少対策の施策を深化
- 庁内組織「とやま未来創生推進本部」で各ビジョンも検証しながら戦略策定

策定にあたって
充実した
独自調査を実施

■ 調査① 次期RESASでわかる地域経済循環構造を先取り把握

- 国が提供するRESAS(地域経済分析システム)では、地域ごとの経済循環構造を明らかにする機能が本年末に追加予定
- 本県ではこの機能追加に先んじて、県内三地域別の経済循環構造を把握(人口ビジョン P.18~P.25「富山県の雇用・産業・経済の状況」参照)
- 今後、当基礎データをもとに、本年10月に設置した「地域経済構造分析研究会」で、本県の主要産業の特徴と課題をさらに分析し、今後の施策展開につなげる

■ 調査② 全市町村ごとに1km²単位の将来人口分布図を明示

- 県内の全市町村ごとに1km²単位で2010年と2050年の人口分布図を比較(人口ビジョン P.30~P.43「人口分布の変化による地域構造の変化」参照)
- 県民の皆さんに自ら住む地域の急速な人口減少状況を視覚的に理解してもらう
⇒ 今後の県づくりに向けた主体的な取組みを期待

■ 調査③ 多様なアンケート調査で幅広いニーズを分析

- 将来人口を展望し、より実効性のある戦略とするために、多様なアンケート調査を実施(人口ビジョン P.46~P.57「将来人口を展望する上での調査・分析」参照)

- (1) 結婚と出産に関する意識調査 (H26/県内20~30代女性を対象)
- (2) 進学・就職に関する意向調査 (県内大学生、県外大学進学者を対象)
- (3) 富山県への移住に関する意識調査 (大都市圏在住者を対象)
- (4) 【今後分析】定住や本県の未来に関する意識調査 (県内高校生を対象)

重要業績評価指標
きめ細かく設定!
182 KPI

基本目標 1 結婚・出産・子育ての願いが叶う環境整備

① 結婚から子育てまで切れ目のない支援による少子化対策の推進

- 結婚を希望する男女の出会いの場の提供など
とやまマリッジサポートセンターなどを通じた結婚支援
- 経済的負担の軽減 第3子以上の保育料の無料化
- 仕事と子育ての両立支援に向けた職場環境の整備促進
全国初の一般事業主行動計画の策定義務化の拡大
企業子宝率などわかりやすい指標の活用を検討

主な
KPI

- ◆ **平均初婚年齢**
夫31.0歳、妻29.2歳⇒1歳程度引き下げる
- ◆ **病児・病後児保育実施箇所数**
82箇所 ⇒ 130箇所
- ◆ **とやま子育て応援団の利用度**
53.7% ⇒ 70%

基本目標 2 産業の振興、雇用の創出、県外からの移住促進

② 産業・地域経済の活性化、③ 若者や女性がいきいきと働き暮らせる魅力ある地域づくり、
④ 観光の振興、定住・半定住の環境づくり

- 「薬都とやま」の産業集積を活かしたライフイノベーションの推進
健康関連産業への参入促進、政府関係機関の県内誘致
- 最先端ものづくり産業の育成
ものづくり技術を活かす成長産業育成、IoTの活用検討
- 新幹線時代の積極的な企業誘致活動の展開など
優れた立地環境をPRした誘致、本社機能等の移転促進
- 県立大学の教育研究体制充実と地元定着の環境整備
全国初 医薬品工学科新設、学科拡充、看護学部設置
- 魅力ある観光地域づくり、富山のブランドカアアップ
日本版DMO整備、世界で最も美しい湾クラブ加盟PR
- 「くらしたい国、富山」魅力発信(定住・半定住の促進)など
恵まれた住環境を誇る本県の空き家を活用した移住施策

主な
KPI

- ◆ **医薬品生産金額**
6,089億円 ⇒ 9,000億円
- ◆ **従業者1人あたり付加価値額(製造業)**
985万円 ⇒ 1,100万円
- ◆ **本社機能移転拡充による雇用創出数**
⇒ 500人(5年累計)
- ◆ **くらし・しごと支援センター就職マッチング件数**
180件 ⇒ 240件
- ◆ **県立大学卒業生の県内企業就職率**
42.0% ⇒ 55%以上
- ◆ **定住者受入モデル地域**
4地域 ⇒ 10地域

基本目標 3 女性・高齢者など多様な人材確保と労働生産性の向上

⑤ 女性が輝いて働ける環境づくり、⑥ 高齢者等が能力を発揮、活躍できる社会の実現、
⑦ 多様な人材の確保と労働生産性の向上

- 企業等における女性の活躍促進や女性人材育成の推進
煌く女性リーダー塾、女性が輝く元気とやま賞表彰
- アセアン地域等からの外国人留学生の受入れ促進
優秀な留学生の受入れ拡大、グローバル人材の育成支援
- ものづくり・ICT技術等を活用した生産性の高い農業展開
チュールップ球根栽培用ロボット開発、薬用シャヤク生産機械化

主な
KPI

- ◆ **研究者・技術者における女性の割合**
11.8% ⇒ 14.1%
- ◆ **アセアン地域からの留学生受入数**
19人/年 ⇒ 24人/年
- ◆ **農業産出額**
643億円 ⇒ 698億円

基本目標 4 地域の基盤強化・魅力向上

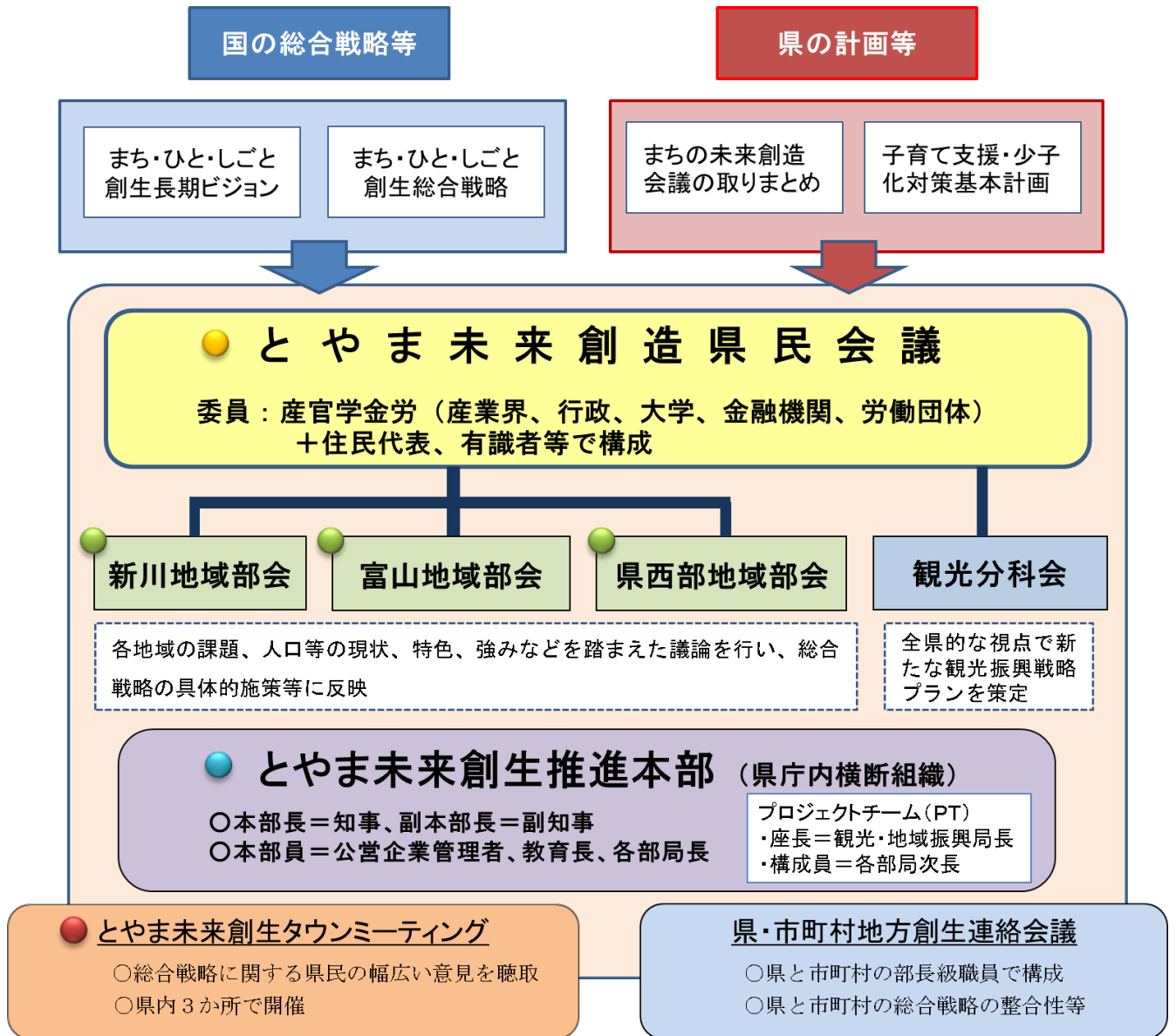
⑧ 交通ネットワーク整備と活力あるまちづくり、⑨ 健康で安心して暮らせる社会の形成、
⑩ 地域を担う人づくり

- 安心で質の高い医療サービス提供体制の整備・充実
県立中央病院の機能強化(新棟整備)、ドクヘリ共同運航
- 地域ぐるみで支え合う仕組みづくり
富山型サービス、ケアネット活動を活かした共生社会の形成
- 世界に誇ることのできる質の高い文化の創造・発信など
利賀芸術公園を中心とした舞台芸術拠点づくり
- 未来を拓く人材育成
起業未来塾、観光未来創造塾など先駆的事業の推進

主な
KPI

- ◆ **市町村等の地域連携協約の締結**
⇒ 1圏域以上
- ◆ **人口10万人当たり救急科専門医数**
1.9人 ⇒ 3.0人
- ◆ **地域包括ケア活動実施団体登録数**
⇒ 1,500団体
- ◆ **新規高校卒業生の県内就職率**
94.2% ⇒ 現状以上

● 総合戦略の策定にかかる体制とスケジュール



策定スケジュール

平成27年	● 第1回 とやま未来創生推進本部 (5/11)	
5月	● 第1回 とやま未来創造県民会議 (5/29)	
6月	● 県民会議/富山地域部会 (6/11)	【6月県議会】
7月～	● 県民会議/県西部地域部会 (7/7)	
	● 第2回 とやま未来創生推進本部 (7/31)	
8月	● 県民会議/新川地域部会 (8/7)	
	● 第2回 とやま未来創造県民会議 (8/26)	
9月～	パブリックコメント (9/9～10/20)	【9月県議会】
10月	● 第3回 とやま未来創生推進本部 (10/30)	
	● 富山県版総合戦略「とやま未来創生戦略」策定 (10/30)	
10～12月	とやま未来創生タウンミーティング (県内3箇所)、各地域部会	【11月県議会】
平成28年	● 第4回 とやま未来創生推進本部	必要に応じて 「とやま未来創生戦略」改訂
1～2月	● 第3回 とやま未来創造県民会議	